

海南 お仕事ナビ

第3号 平成29年3月28日発行

海南市役所産業振興課

TEL : 073-483-8460

海南市地元就職応援サイト (バックナンバーを掲載中)

<http://www.city.kainan.lg.jp/contents/iju-turn>

「海南お仕事ナビ」は、海南市で働く良さや、楽しさを中学生のみなさんに紹介するために発行しています。今回は、家庭日用品の企画開発、お菓子屋、作業療法士の3人にインタビューしました。みなさんどんなお仕事をしているのでしょうか…♪

特集 海南第三中学校の地場産業学習 (株式会社サンコーにて)

海南市で盛んな産業について知ろうということで、海南第三中学校1年生のみなさんが、1月18日に株式会社サンコーへ企業見学に行ってきました！株式会社サンコーは、スポンジやトイレの便座シート、お風呂マットなど、様々な種類の家庭日用品を製造している会社です。



まずは社長さんのお話。家庭用品の歴史と、人生や働く上で大切なことについて学びました。

- ・「素直な心」が大事。
 - ・「成功の反対は失敗ではなく何もしないこと」、だから何かやりたいことがあるなら思っているだけではなく、失敗を恐れず挑戦してみしてほしい。
- というメッセージをいただきました。

その後、ショールームで様々な商品を見学。その中のクリーナーを使って、手についた油性マジックを洗剤無しで落とせるかみんな体験してみました。あっという間に汚れが落ちて、みんな大盛り上がりでした！サンコーには数えきれないほどの便利グッズがありますので、ぜひ家の掃除にも使ってみてくださいね。



株式会社 サンコー (日用家庭用品の製造・販売)

代表取締役：角谷 太基 創業：昭和37年3月

所在地：海南市大野中 715 TEL : 073-482-5011

HP : <http://www.sanko-gp.co.jp/>

橋本^{はしもと} 沙弥^{さや} さん (26) 東和産業株式会社 企画部開発グループ

前向きにがんばることや楽しむことが大切!

■橋本さんはどんなお仕事をされているのですか?

家庭日用品のメーカーで商品の企画開発をしています。開発担当の社員は10人程で、①スポンジ等のキッチングッズ、②洗濯グッズ、③お風呂グッズ、④収納グッズなどのチームに分かれており、私は収納グッズの開発担当です。新商品を考えたり、すでにあるものを改良するためにアイデアを出しています。



橋本さんが開発した収納グッズ♪

物の大きさによって形を変えられます。

■1つの商品ができるまでどれぐらいの期間がかかりますか?

半年から一年かかります。商品を思いついてから、会議や品質試

験を経て商品化されます。一人で考えるのではなく、先輩や営業担当や普段家事をする女性など、いろいろな人から意見を聞きながら作っていきます。時には東京の雑貨屋さんなどに流行を調べに行ったりもします。パソコンで検索するだけではわからないこともあると思うので、時間がかかっても実物を見に行くように心がけています。



楽しそうに開発の仕事のお話をしてくれました

■家庭用品の企画開発の仕事に就くにはどうすればいいですか?

パソコンやデザインの勉強をしておくに役立つとは思いますが、していなくても、自分の信念や意見を持って一生懸命がんばれる人なら大丈夫です。私も昔からDIYなどものを作ることが好きでしたが、専門の勉強をしてきたわけではありません。特別何かが得意でなくても前向きにがんばることや楽しむことが大切だと思います。

■海南市で働いてみてどうですか?

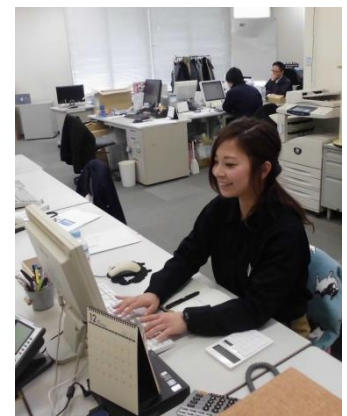
最初は大阪で働いていたのですが、実家のある海南市に帰ってきました。休日は、友達や家族と趣味のスポーツを楽しんでいます。また、周りの人たちが温かくて、とても仕事がしやすい環境です。

■将来の目標は何ですか?

もっと流行を取り入れて、若い人にも気に入ってもらえるようなデザインの商品を作りたいです。また、「家庭用品といえば東和産業」と言ってもらえるようにがんばりたいです。

■中学生にアドバイスはありますか?

私は小・中学校はテニス部、高校・大学ではハンドボールをしていて、その時に学んだのが「継続は力なり」という言葉です。勉強でもクラブでも趣味でも、何か一つでも最後までがんばれば、その時はしんどくても、結果的に未来につながると思います!



仕事場の風景

東和産業 株式会社 (日用家庭用品の製造・販売)
代表取締役: 吉田昌弘 創業: 昭和20年11月
本社: 海南市藤白759 TEL: 073-484-2076
HP: <http://www.towasan.co.jp>

野田 智也 さん (40) 3時のかんぶつ屋さん 店主

かんぶつの良さをみんなに伝えたい!

■野田さんはどんなお仕事をされているのですか?

「3時のかんぶつ屋さん」というお菓子屋さんでかんぶつスイーツを作って販売しています。

■かんぶつスイーツって何ですか?

昆布やひじき、干し椎茸などのかんぶつを材料に使っているお菓子のことです。僕と妻とスタッフでレシピを考えています。

■なぜこの仕事をしようと思ったのですか?

実家がかんぶつを中心に扱っている卸売業者を営んでいるんです。最初は銀行員として大阪で働いていたんですが、実家を助けるために戻ってきました。卸売業はメーカーから仕入れた商品进行るのですが、その内に、自分のオリジナルな商品を作ってお客さんに喜んでもらいたいと思うようになり、今のお菓子屋さんを始めました。



『かんぶつマエストロ上級』
の資格を持っているプロ!



お店はかわいくてオシャレ

■やりがいを感じることは?

かんぶつのことをたくさんの人に知ってもらうために、小学校で出張授業をしているのですが、子どもたちが一生懸命話を聞いて興味を持ってくれると、やりがいを感じます。その後も、その子どもたちがお小遣いを握りしめてお店に買いに来てくれる時もあり、そんな時とても嬉しくなります。

■海南で働いてよかったことは何ですか?

地域の方々が温厚で良い人が多いです。あとは都会に比べて時間がゆったり流れていること。休日には大好きな本を読んだり、子どもが好きな銭湯へよく行きます。

■中学生の頃はバスケットボール部だったそうですが?

毎日練習に打ち込んでいました。部活をがんばってよかったことは、一生の仲間ができたことです。

■中学生にアドバイスはありますか?

自分がやりたいと思っていることは、誰かに相談するなど、外へ向けて発信してみしてほしい。そうしたら、周りの人が助けてくれてチャンスが広がります。僕もお店を開きたいと思った時にいろんな人に相談して助けてもらいました。

■これからの目標は?

全国からお客さんが来てくれるようなお店にしたいです。長く続けていけるようにがんばりたいと思っています。

3時のかんぶつ屋さん

店主：野田 智也 開店：平成 23 年 11 月

本店：海南市藤白 189-1 TEL：073-482-3424

HP：<http://www.3pm-kanbutsuya.jp/index.html>



いろいろな種類のかんぶつスイーツ♪
人気は「ひじきのシフォンケーキ」

さくらクリニック 作業療法士

子どもと同じ目線に立ち、遊びや学習を通して発達支援をしていきたい！

■働き始めて1年目ということですが、どんな仕事をしているのですか？
小児リハビリ施設で、運動が苦手・手先が不器用・人間関係がうまくできない等の悩みをかかえた子どもたちに、遊び（折り紙、レゴ、ボルダリングや鬼ごっこなど）を取り入れながら、心と身体の発達をうながし、社会で生きる力を育てていく療育を行っています。

■なぜ作業療法士の仕事を選んだのですか？
ずっと人の役に立つ仕事をしたいと思っていました。高校生の頃、部活動の陸上でけがをしてリハビリへ通っている時に作業療法士という仕事のことを知り、興味を持ちました。特に小児領域を選んだのは、子どもとただ楽しく遊んでいるだけに見えて、先生方が様々な考察、計画をしていることに感動したからです。

■やりがいを感じることはどんなことですか？
初めて会ったときは心を開いてくれなかった子が、だんだん話しかけてくれるようになって成長を感じた時は嬉しいです。大事なことは、子どもと同じ目線で楽しむことかなと思っています。



アットホームな職場で、先輩から勉強中

また、医療はどんどん進歩していくので、日々勉強です。

■どうしたら作業療法士になることができますか？
作業療法士になるには、大学や専門学校で必修科目を勉強し、実習を経て、国家資格を取得する必要があります。私は専門学校を卒業しました。

■海南市で働いてよかったことは何ですか？
学生時代に県外で一人暮らしをした時にとっても寂しかったので、就職するなら実家から通えるところがいいと思い、地元海南を選びました。実家だと家事の負担も少ないし、地元の友達といつでも会えるのが嬉しいです。両親に仕事の話を聞いてもらったりもできて、安心です。

■中学生の頃は何かをしていましたか？
陸上部で投てきをがんばり、全国大会や国体に出場したこともあります。また、絵を描くことやゲームをすることも好きで熱中していたので、現在の仕事内容にも生かされています。何でもいいので自分の好きな事をがんばっておくと、将来役に立つことがあると思います。

■これからの目標はありますか？
今後、経験を重ねていき、もっと子どもや保護者の力になれるようにがんばりたいです。



休日は、温泉めぐりや

公園めぐりを楽しんでいます♪



折り紙を使って発達支援

さくらクリニック

院長：西願 誠二

設立：平成12年2月

本社：海南市鳥居3-1

TEL：073-488-1192

HP：<http://www.sakuraclinic.org/>